

平成26年9月30日(火)  
国土交通省関東地方整備局  
港湾空港部

記者発表資料

**「京浜港コンテナマッチングセミナー2014」の開催について**

京浜港物流高度化推進協議会では、京浜港の国際競争力の強化と背後圏物流の高度化に向けた様々な取り組みを進めていますが、その中の1つとして、内陸地における空コンテナの陸上輸送の削減に取り組んでいます。輸出入企業が効率よくコンテナを利用(コンテナマッチング)することで、空コンテナ輸送の削減につながり、環境負荷の低減、物流コストの削減及びターミナル周辺での渋滞緩和に寄与すると考えています。

そこで、同協議会ではコンテナマッチングを推進するために、海上コンテナを扱っている荷主、海貨業者様等を対象にセミナーを開催することと致しました。

セミナーでは、マッチング実施への具体的取組の紹介、マッチング実施 2 社からの事例紹介、マッチングに関する新たな取組の紹介を行います。また、セミナー終了後には参加者の交流の場を設けます。

【セミナーの概要】

- |        |  |
|--------|--|
| <主催>   | 京浜港物流高度化推進協議会<br>(事務局:国土交通省関東地方整備局、関東運輸局)            |
| <目的>   | 物流効率化を進めるため、コンテナマッチングの具体的な取組を紹介し、企業間のコンテナマッチングの促進を図る |
| <開催日時> | 平成26年10月29日(水) 入場無料<br>13:30~16:30                   |
| <開催場所> | さいたま市民会館おおみや(埼玉県さいたま市大宮区下町 3-47-8)                   |
| <申込期日> | 平成26年10月27日まで  |

【開催案内及び申込方法】 別紙-1参照

【コンテナマッチング説明資料】 別紙-2参照

○参加を希望する荷主、海貨業者等は、以下のアドレスから用紙をダウンロードし、FAX又はe-mailにて申し込み下さい。 <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/03info/03kisyu/2014.htm>

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、物流専門紙、その他専門紙

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局港湾空港部 港湾物流企画室  
室長 小澤敬二 (こざわけいじ)、 課長補佐 青島豊一(あおしまとよかず)  
TEL:045-211-7437 FAX:045-211-0204

# 京浜港コンテナマッチングセミナー 2014

京浜港物流高度化推進協議会では、コンテナ物流のより一層の効率化、コンテナターミナル周辺の交通混雑の緩和等を図るため、コンテナマッチングの促進に取り組んでいます。その一環として、コンテナマッチングに興味をお持ちの荷主、物流事業者等を主な対象とし、コンテナマッチングの考え方や事例を紹介するセミナーを以下のとおり開催致します。



**開催日時 : 平成26年10月29日(水)**  
**13:30~16:30 (開場 13:00~)**

- i コンテナマッチングへの取組について 13:30~13:40  
◆関東地方整備局
- ii マッチングの実務と課題及び気象変動期のコンテナ輸送 13:40~14:05  
◆NPO法人エスコット 藤本 治生 理事長
- iii マッチングの取組事例の紹介①  
~サントリーの物流戦略~ 14:05~14:30  
◆サントリービジネスエキスパート株式会社  
SCM本部 物流部 国際物流グループ  
今井 基樹 課長
- iv マッチングの取組事例の紹介②  
~マッチングセンターの挑戦~ 14:30~14:55  
◆日本通運株式会社 海運事業部  
犬井 健人 専任部長
- v マッチングに関する新たな取組の紹介 14:55~15:15  
・インランドポートによる物流の効率化と地域の活性化  
◆佐野市  
・ラウンドユース社会実験参加企業の募集について  
◆埼玉県
- vi 参加者交流会 15:30~16:30

■会場：さいたま市民会館おおみや  
 (埼玉県さいたま市大宮区下町3-47-8)

◇大宮駅  
 東口より徒歩15分

◇大宮駅東口から  
 <東武バス>  
 3番乗場 天沼循環  
 「吉敷一丁目」下車  
 徒歩5分

◇さいたま新都心駅  
 東口より徒歩17分



※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

■参加費：無料




■定員：先着150名

(申し込み方法は裏面参照)

- ・主 催：京浜港物流高度化推進協議会
- ・共 催：国土交通省 関東地方整備局
- ・お問合せ：一般財団法人みなと総合研究財団 (担当：菅木 (ちさき)、田中)  
 TEL : (03)5408-8294 e-mail : matching@wave.or.jp

※なお、今年度内に、「第2回 京浜港物流高度化シンポジウム」の開催も予定しています。

## 講演者紹介 (敬称略)

【セミナーii】	NPO法人エスコット 理事長	【セミナーiii】	サトリービジネスサポート株式会社 SCM本部 物流部 国際物流グループ 課長	【セミナーiv】	日本通運株式会社 海運事業部 専任部長
	1983年 OOCL入社 以降、物流の効率化に取り組み、 1997年に国際コンテナ輸送の 環境負荷低減を具体的に実施す るため、NPO法人エスコット を設立し、コンテナマッチング のコーディネーターを始める。		1993年サントリー入社 1996年からロジスティクス推 進部において国内物流、国際物 流業務を担務したほか、グルー プ会社経営企画など幅広い業務 に精通。2013年4月より現職。		1986年日本通運入社 以降、日本、北米、欧州等にて 国際海上貨物輸送に一貫して携 わる。 2013年10月より現職。
藤本 治生		今井 基樹		犬井 健人	

### コンテナマッチングとは

従来、港へ空の状態での返却、引き取りをしていた海上コンテナを、他社との協力・連携や自社の輸出入貨物の時期などの調整により、実入りコンテナとして利用し、物流の効率化を目指す手法のことを言います。

当セミナーでは、「コンテナマッチング」を複数企業間、「ラウンドユース」を自社内での取り組みとしています。

### 京浜港物流高度化推進協議会とは

京浜港の競争力強化や背後圏での物流の高度化に向けた課題解決のため、学識経験者や京浜港を利用する各種企業・団体、行政関係者により、平成18年に設立された協議会。

関係者が協働して様々な取り組みを進めています。

## ■参加申し込み方法

**e-mail**または**FAX**にて、**10月27日(月)まで**にお申し込みください。

- ◆ e-mail : 下欄の①～⑦の内容をご記入の上、下記e-mailアドレスにお送りください。
- ◆ F A X : 下欄に必要事項をご記入の上、切り取らずにそのまま下記申込先にお送りください。  
(複数名お申し込みの場合は、この用紙をコピーの上、お一人様1枚でお申し込みください。)

【申込先】 一般財団法人みなと総合研究財団  
e-mail : [matching@wave.or.jp](mailto:matching@wave.or.jp)  
F A X : 03-5408-8741

### 【F A X 申込記入欄】

①貴社・団体名			
②ご所属・ご役職			
(ふりがな) ③ご参加者名			
④ご住所	〒		
⑤電話番号	( )	⑥e-mailアドレス	

※ご記入いただいた内容は、本セミナーの実施目的以外に使用することはありません。  
※定員に達した時点で申し込みを締め切らせていただく場合がありますので、予めご了承ください。  
また、応募多数の場合、企業・団体毎に参加者数を限定させていただくこともございます。  
(e-mailでご連絡いたしますので、e-mailアドレスは必ずご記入ください。)

# 「海上コンテナのマッチング」

## ～空コンテナの有効利用による物流効率化の実現～

海上コンテナの「マッチング」や「ラウンドユース」は、従来、港へ空で返却、または空で引き取りをしていた海上コンテナを、他社との協力・連携や自社の輸出入貨物の時期などの調整により、実入りコンテナとして利用し、**物流の効率化を目指す手法**のことを言います。

※ここでは、「コンテナマッチング」を複数企業間、「ラウンドユース」を自社内での取り組みとしています。

### ➤ 実施によるメリット

コンテナマッチング、ラウンドユースの実施により荷主の皆様以下のようなメリットがもたらされます。

#### ◆ 物流コストの削減

- 空コンテナの輸送にかかる費用が削減されます。  
〔荷主(輸入)：空コンテナの返却経費の削減〕  
〔荷主(輸出)：空コンテナの引取経費の削減〕
- マッチング実施のための費用（コンテナの確保、調整費用等）を差し引いても、物流経費削減が期待できます。

#### ◆ 環境負荷の低減

- マッチングによる輸送距離の減により二酸化炭素発生量の減少につながり、環境負荷低減に貢献します。港への空コンテナ輸送が減りゲート前渋滞の緩和につながります。

### ➤ 実施のために必要なこと

コンテナマッチングの実施においては、以下の作業が必要です。

#### ◆ 必要となる作業

- マッチング相手企業との協力・調整
- 空コンテナの予約・保管等
- 関係者（荷主・フォワーダー・船社等）との事前調整や実施時の連絡体制の確保

※コンテナマッチングの導入や実施をサポートするコーディネーターも活躍しています。

#### 【実施例 1】

##### インランドデポを利用したラウンドユース

内陸部インランドデポのコンテナ留置機能（写真）を活用し、輸入後の空コンテナを別会社の輸出に使用しました。

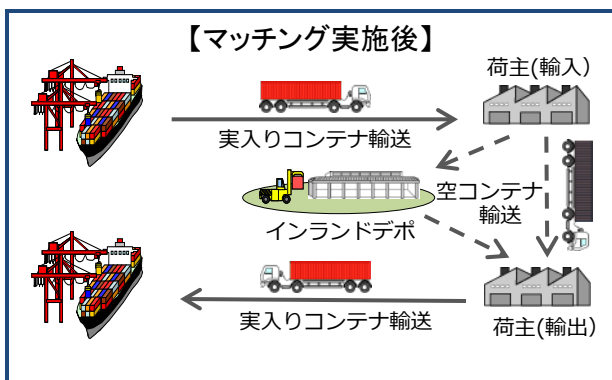
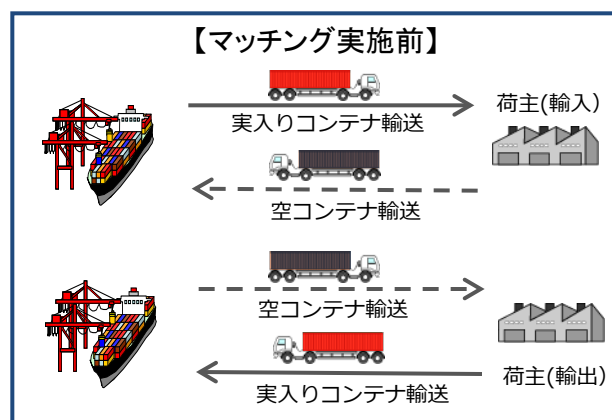


#### 【実施例 2】

##### 異業種間のコンテナマッチング

同業種だけでなく異業種企業が連携し、直接コンテナを融通しあってコンテナマッチングを実施する事例があります。

飲料メーカーが原材料の輸入をした際に、内陸部で発生した空コンテナを、農機具メーカーが輸出に用いました。



### ➤ 下記にお問い合わせください。

「コンテナマッチング」の考え方やメリット、実施事例、貴社における活用可能性等をご説明いたします。また、コーディネーター等の紹介もいたします。

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

(担当：小林、三角) TEL：(045) 211-7437